

2025年11月19日

育休退園制度廃止を求める請願書

犬山市議会議長

大沢 秀教 様

請願団体 犬山市保育を守る会

請願代表者

住所

氏名

紹介議員

岡村千里
ビアンキ恵子
岡 寛

11月 隆広

請願主旨

2025年6月4日、厚生労働省が発表した最新データによると、日本の合計特殊出生率（TFR）は1.15と過去最低を記録し、出生数も統計開始以来初めて70万人を下回る68万6061人となりました。これは、国立社会保障・人口問題研究所の推計よりも約15年早いペースで少子化が進んでいることを示しており、極めて深刻な事態です。

このような中で、全国的に「育休退園制度」の廃止が進められています。愛知県岩倉市では、複数の乳幼児を育てる家庭の声を受け、2025年6月から0歳児・1歳児クラスにおける育休退園制度が廃止されました。

一方、犬山市では現在も、保護者が育児休業を取得した場合、1歳児クラス以下に在籍する上の子どもは、産後休業終了後の月末をもって退園となっています。市内では毎年、「新生児と1歳児の同時育児の大変さ」「第2子・第3子の出産を躊躇してしまう」といった切実な声があがり続けています。

子どもを安心して産み育てられる社会の実現は、今を生きる私たちすべての責務です。「犬山の子どもは犬山で育てる」という理念のもと、犬山市においても誰もが安心して子育てできる環境の整備を強く求めます。

請願項目

1. 育休退園制度を廃止してください。



取り扱い団体 犬山市保育を守る会 inuyama.hoiku@gmail.com

